



福岡女学院院長・九州大学名誉教授 神学者・寺園喜基先生が今日の宗教を語る！

寺園 喜基氏 講演会



6月23日(土) 午後3時より(2時半開場)

第六回 荒生田塾講演会 入場無料!(カンパあり)

「今、なぜ宗教か」

6月24日(日) 午前10時半より

キリスト教講演会(礼拝) 入場無料!(席上献金あり)

「命の水」(ヨハネ福音書4:1~26)

※駐車場はありません。公共の交通機関をご利用ください。



寺園 喜基

1939年12月1日 鹿児島市生まれ、ラ・サール高校2年のとき受洗。牧師となるべく教派神学校である西南学院大学神学部で学ぶ。講師で来校していた滝沢克己先生と出会い九州大学大学院へ進学し修士・博士課程で学ぶ。1967年ヴッパータール神学大学、ボン大学へ留学、1971年神学博士(ボン大学)。1972年より九州大学助手、助教授、教授(教養部で宗教学、後に大学院比較社会文化研究科で西欧宗教思想を担当)。その間1983~84年ポーフォーム大学客員教授、2000年ヴッパータール神学大学客員教授を務める。九州大学名誉教授。1998年西南学院へ、大学神学部教授、2004年より院長、2009年より理事長も兼任し2012年退職。西南学院名誉顧問。同年6月より翌年2月までヴッパータール神学大学客員研究員。2015年より福岡女学院院長、現在に至る。

専門 キリスト教神学・組織神学、特にバルト、ボンヘッファーの神学

著書 『カール・バルトのキリスト論研究』、『バルト神学の射程』、『途上のキリスト論…バルト=ボンヘンファーの線』、その他。翻訳『カール・バルト=滝沢克己往復書簡』、その他。

家庭では4人の子供、10人の孫がいます。皆、県外に住んでいて、夫婦二人暮らしです。趣味はテニス、リコーダー、料理。

牧師エッセイ「いのちを祝う 榎本てる子先生との出会い」 二〇一八年五月 牧師 奥田知志

今話題の関西(カンセイ)学院大学は私の母校。私は一九八二年に入学した。一年上の先輩に榎本てる子さんがおられました。二十歳にして貫禄があるというか、「関西のおばちゃん」の風格をお持ちの方で、独特の空気をつくり出し、周囲を巻き込みつつ皆を笑顔にさせるような方でした。榎本先生は、榎本保郎という牧師の娘で、三浦綾子が榎本牧師を主人公に書いた「ちいロバ先生物語」を読まれた方もおられると思います。榎本先生は、大学卒業後、カナダに留学し、当時世界的に問題となりつつあったHIV感染者(エイズ)やLGBT(性的マイノリティー)の人々に対する社会的包摂、あるいは社会的ケアについて学ばれました。この分野での先駆者のおひとりで、留学中、エイズをめぐる「神学的な議論」において、「人」が忘れられていくことに疑問を感じた「と後に語っておられます。人が好きで、人が人と共い生きることを生涯考えられた人でした。と、議論や制度が先行してしまえば、肝心の人が忘れられる。これは、あらゆる分野に言えることだと思えます。お世話になった先輩でしたが、卒業後はお互い忙しく減多に会うことはありませんでした。久ぶりに電話があったのは、今から一〇年近く前、私がNHKのプロフェッショナルに出演した時、「あんた見たでえ。頑張ってたなあ。えらいなあ。でも、調子に乗ったらあかんぞ」というようなことを言われた記憶があります。その後は、少しづつ連絡が来るようになりました。その頃、てる子先輩は、関西学院大学神学部の先生になっておられました。その後、電話があり「関学でお話せえへんか」と講演に呼んでくれました。正直驚きました。久ぶりにお会いしたてる子さんは、あの快活でアクティブな姿はなくなり、電動車いすに乗り、顔は薬の影響で大きく腫れていました。聞くと、膠原病という難病を得、その結果、間質性肺炎という難しい病気にかかっているとのことでした。息をするのもキツイ様子でした。その後も僕が書いたフェイスブックの文章に度々「あんた、ほんまに言葉に力があるわ。ええなあ」と応答くださっていました。最後に会ったのは、今年の二月。ある子さんがいのちをかけて創った「バザールカフェ」主催の講演会が同志社大学で開かれ講演に呼ばれた時でした。病状は、さらに深刻で電動車いすに看護師が常に付き添い、鼻には酸素のチューブがかけられていました。それでも彼女は「ほんまにええ講演やった」と笑顔でした。楽しみにしていた懇親会にも出席できず、彼女に四月二七日榎本てる子さんが路上にあふれました。「葬儀」と言いましたが、実は本人の希望で「Celebration of Life」とつまり「いのちの祝い」とその「集い」は命名されました。喪服は禁止。色とりどりの服装の人々が集まりました。LGBTやAiley(性的マイノリティーの味方)のシンボルであるレインボーカラーの身に付けた人々が泣きながら、笑いながら集っておられる様子、てる子さんがどんな風に生きて来たのかを証していました。僕はそんな「ドレスコード」があることなど知らず、喪服で駆け付けたわけです。会場で「てる子さんの葬儀なんだから、そりやそうだな」と気づきました。後の祭り。「あんた、アホか」と笑ってくれるとは思いますが、僕は、悔しいので「黒はレインボーにはない色や」と色加わったということや、ええやないか」と言い訳したかった。「口がへらん奴や」と言われたでしょう。葬儀会場の礼拝堂に入った時、最初に遺影が目に入りました。正直、驚愕しました。そして「やられた」と思ったわけですが、そして「この先輩にはかなわんなあ」と思い、涙が溢れました。会場の真ん中に飾られていた写真は、病気を患うてる子さんの姿でした。電動車いすに座り、鼻には酸素のチューブ、顔色の悪いムーンフェイスの先輩が少し微笑んでいます。病気になる前は、一〇年ぐらい前だそうだったので、それまでの元気だった頃の写真は、いくつもあるはずですが、しかし、いかに死の時の、しかも相当最近、すでに死が予感されるような写真を彼女が選んだのか、僕には出来ないうちと思いました。僕が今死んだとしたら、たぶん「もう少しましな時のお写真」をお願いすると思います。「今よりも少しばかり髪の毛の多い時の写真をお願いしたいです」と。しかし、てる子さんは、しんどく、弱ったそのまの姿をさらして教えたのです。「奥田くん、いのちを祝うということは、そういうことなんや」と意味のあるのちと無いのちが分断される時代となりました。しかし、意味のないのちとありません。いのちそのものに意味があるのです。生きることに意味がある。遺影は何も語りませんが強烈な遺言として、僕は「いのちの祝いをいただきます。それがとうございました。僕は、もう少し、仕事してから、そっちに行きます。それまで、さようなら」。



# こんなことやっています！ 「語り場Bar」のご案内



土曜の夜、教会がバーになる——。

昨年7月から始まった新企画、「語り場Bar」がひそかに話題になっています。

主に教会のホームページやFacebookで呼びかけたところ、毎回、30～50の方が集まって、美味しい食事やカクテル、そして奥田牧師のトピックトークを楽しんでいます。

これまで5回開催。トークのテーマは、「生きる」、「出会い」、「笑い」、「希望」など、誰にとっても興味を引くものばかり。ゲストを交えながら寅さんの映画をネタにトークが展開されたこともありました。

毎日新聞に取り上げられたことも。（左下）

今後も3ヶ月に1回のペースで開催予定。どなたでも参加いただけます。

気になる方はぜひ、ホームページやFacebookのチェックを！

今後の予定：第6回（8/25）、第7回（12/8）、第8回（3/2）

※変更になることもあります。ホームページでご確認ください。



教会ホームページ：<http://www.higashiyahata.info/>



## 今年の沢知恵コンサートは、中川五郎がゲスト出演！ 10/27 開催！

2015年以来、東八幡キリスト教会の秋のコンサートとして定番になってきたシンガーソングライター沢知恵さんのピアノ弾き語りコンサート。3回目の昨年は、オールリクエストでやってくださいました。

3回目にしてそこまでやったら次はどうなるの？と心配していたら、今年はなんと、沢さんが「同志」と呼ぶ中川五郎さんをゲストに呼んでくださるとのこと！

中川五郎といえば、フォーク世代にとっては伝説的存在の一人。中川さんの作った「受験生ブルース」や「主婦のブルース」を聞いたことがある人も多いはず。70年代以降、しばらく活動の中心を執筆や雑誌編集、翻訳などに移しておられたけれど、現在は再び歌うことを活動の中心として、日本各地でライブを行っておられます。

沢さんも「自分の感受性くらい」など、中川さんの歌をいくつかカバーしてアルバムで発表しておられます。

こんな豪華なコンサートは、なかなかお目にかかれない！ぜひ、今からスケジュールに入れておいてください！

### 第4回 沢知恵ピアノ弾き語りコンサート with 中川五郎 2018年10月27日開催予定



写真は昨年のコンサートの様子。昨年はコンサートの翌日、東八幡キリスト教会の教会堂を設計された建築家の手塚貴晴・由比ご夫妻と沢さん、奥田牧師の豪華対談が実現しました。



#### 定例集会

- ・主日礼拝（一般の部）  
毎週日曜 午前10時30分より
- ・子ども礼拝（小学生以下の部）  
毎週日曜 午前9時30分
- ・少年少女会（中高生会）  
毎週日曜 礼拝後
- ・聖書の学びとお祈りの会  
夜の部 毎週水曜 午後7時30分  
昼の部 毎月第3水曜 午後1時

#### 牧師へのご相談 随時受付中！

牧師へのご相談を受け付けています。お困りのこと、誰にも相談できないこと、何でもかまいません。一人で悩まずにご相談ください。とにかく一緒に悩みましょう！  
牧師には守秘義務がありますので安心して相談ください。

電話093-651-6669

〒805-0015 北九州市八幡東区荒生田2丁目1番40

電話/FAX (093) 651-6669 ホームページ：「東八幡キリスト教会」で検索

Email : [higashiyahata.ch.1955@nifty.com](mailto:higashiyahata.ch.1955@nifty.com)

牧師：奥田 知志 石橋 誠一

協働牧師：藤田 英彦 森松 長生 齊藤 弘司

